

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 新型コロナウイルス関係病床確保事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内2535)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,666,267 千円 (現計予算額： 14,990,916 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	14,990,916	14,990,916	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,666,267	3,666,267	0	0	0	0	0	0	0
決定額	3,666,267	3,666,267	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症については、県内での感染拡大を見据え、まん延期に耐えうる医療提供体制の充実・強化のため、入院患者を受け入れる医療機関への支援を行う必要がある。

(2) 事業内容

患者受入体制を確保するため、入院医療を提供する県内医療機関に対し、病床確保経費等を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

○病床確保に係る経費

①重点医療機関である特定機能病院等

・稼働病床の国上限額 74,000円～436,000円/床・日 (国10/10)

・休止病床の国上限額 16,000円～436,000円/床・日 (国10/10)

②重点医療機関である一般病院

・稼働病床の国上限額 71,000円～301,000円/床・日 (国10/10)

・休止病床の国上限額 16,000円～301,000円/床・日 (国10/10)

- ③協力医療機関
 - ・稼働病床の国上限額 52,000円～301,000円／床・日（国10/10）
 - ・休止病床の国上限額 16,000円～301,000円／床・日（国10/10）
- ④その他の医療機関
 - ・稼働病床の国上限額 16,000円～97,000円／床・日（国10/10）
 - ・休止病床の国上限額 16,000円～97,000円／床・日（国10/10）

○消毒等に係る経費
実費相当額（国10/10）

※国事業：新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金

（４）類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,666,267	患者受入れに向けた病床確保経費に対する補助金
合計	3,666,267	

決定額の考え方

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

「ウィズ・コロナ」総合対策（R4.5.30）

（２）国・他県の状況

患者受入れに向け、病床を確保している医療機関に対して支援を行う必要がある。

（３）事業主体及びその妥当性

「ウィズ・コロナ」総合対策（R4.5.30）で、県としての対策として医療提供体制の堅持が明記されている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

感染拡大した場合に、入院待機者（入院治療が必要であるが、入院先となる医療機関を調整中の患者）に対応できるよう、酸素投与や抗体カクテル療法など必要な処置を行うことができる入院待機施設を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 岐阜圏域に1箇所（岐阜メモリアルセンター）、中濃圏域に1箇所（木沢記念病院）の計2箇所に入院待機施設を整備。感染状況によって迅速に運営できる体制を維持。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	病床逼迫時に一時的に患者を受け入れ、必要な措置ができる臨時の医療施設の整備・維持は、県民の生命を守るうえで重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	病床逼迫時には、入院調整中の患者を一時的に受け入れ、必要な措置ができる有効な臨時医療施設である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	必要に応じて、外部委託を行うなど、事業の効率化は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】